愛荘町立
秦荘西小学校
HATASHO NISHI ELEMENTARY SCHOOL

for Peace of mind

みんなが安心して集い
これからの時代を生きる子どもたち
を育む学校を目指して

the Goal

学校教育目標

未来に花咲く、自律的な子どもの育成

～豊かな関わりの中で創造的に、自己決定をし成長し続ける姿を目指して～

目指す子ども像

- 創造　見通しをもって、新しいことに挑戦で きる子
- 協働　伝え合い、認め合い、高め合える子
- 自立　物事を自分事に考え、自己決定に対して責任ある行動がとれる子

様々な人と関わり高め合う中で、物事を自分事として考え、よりよい未来に向けて自己決定ができる自律的な子どもを育てたい。そして、未来に自分色の花を咲かせてほしい。そんな願いを込めて学校教育目標を立てました。

INPROVEMENT

当たり前を見直し
みんなが安心できる学校を目指して

01 午前40分 5時間授業

02 教科担任制

03 チーム担任制

04 居場所作り

目指す学校

児童が安心して通い、成長できる学校
保護者が安心して子供を通わせ、信頼できる学校
先生が安心して働き、やりがいを感じる学校

教室に入りにくい児童には、自分のペースで教室に入っていけるよう、校内適応指導教室「オアシス」を開設しています

40分授業午前5時間制

午前の授業時間を40分とし、午前に5時間の学習を行います。午後は20分の学習タイム（秦西タイム）と45分の6校時の学習を行います。集中力を高く保ちながら40分授業を行う「学びの午前」と「活動の午後」と分けたメリハリのある日課です。

ここに注目!

〇授業時間を5分短くすることで、午前の落ち着いた時間帯にリズムよく集中して5時間の学習に取り組むことができる。
〇午後の秦西タイムに午前の学習内容を取り入れた学力保障の取組が可能。また6時間目を合わせると65分の余裕ある活動が可能になる。
〇放課後に教員が児童の情報交換を密にとることができたり、授業力向上のための研修会などを行うことができる。

学校の当たり前から見直す

「みんなが安心できる学校」にするために、これまでの学校の当たり前を考え直し、保護者や教員の学校評価、また、児童のアンケート結果をもとに、より良い学校づくりのため学校改革を行いました。この改革によって、より子どもたちに寄り添い、子どもたちの自律を促す事ができるようになります。ウェルビーイングの実現に向けて皆が考え行動していくことのできる環境を作っていきます。

教科担任制

高学年で教科担任制を実施します。5,6年生担当教員が学年を超えて高学年における担当教科の授業を行います。それぞれの教員が自身の専門性を生かし、系統性を意識した質の高い授業の実践を目指します。また、児童にとっては多くの先生とつながることができます。中学年ではできる限り交換授業を多く行います。

中学校への接続という面でも効果的です。

ここに注目!

〇高学年担当教員が、複数の目で児童の見守りができる。
〇より専門性の高い授業を受けることができる。
〇教員の出張や休みなどによる自習を減らすことができる。

学年担任制

朝の会や給食、帰りの会など、担任業務を定期的に学年団の教員が交代して行います。多くの目で児童の様子を見ることができると共に、担任が固定されないため児童の自律が促されます。家庭訪問や個別懇談会は実施時に担任業務を担当している教員が行います。

ここに注目!

〇担任の経験やスキルの差が埋まるため、学級・学年経営が安定する
〇学年（部）経営の意識が高まり、統一した指導ができる。
〇子どもたちが複数の先生の良さを取り入れることができ、特定の担任に依存しない自律的な子の育成が期待できる。
〇多くの目で子どもを見ることができる。
〇子ども（保護者）にとって相談したりできるチャンネルが増える

PROGRAM for the year

創造・協働・自律のための学校行事

自律を育む秦荘西小学校の1年

今あるものに「適応する力」より、今ないものに「対応する力」をつけ、新たな価値を創造し、実行し、成長を続ける力をつける教育活動に。

主な年間行事（予定）

	主な行事計画
4月	１学期始業式 入学式 家庭訪問
5月	学年懇談会
6月	音楽集会 プール開き 自主勉チャレンジウィーク 期末テスト
7月	個別懇談会 １学期終業式
8月	２学期始業式
9月	縦割り運動会
10月	運動会 校外学習
11月	持久走大会 自主勉チャレンジウィーク
12月	期末テスト 秦西祭り 個別懇談会 ２学期終業式
1月	３学期始業式 百人一首大会
2月	秦西漢字検定 自主勉チャレンジウィーク 期末テスト 六年生を送る会
3月	卒業式 修了式

学校行事

学校行事を「自律的な学びと活動の場」と位置づけ、どの行事にも児童の意見を取り入れ、達成感の中で成長を促す機会としています。

自律的な学びと活動の場としての学校行事

児童会活動

あこがれの高学年が学校文化を紡いでいきます。縦割り活動の中で、学年を超えての交流が生まれ、より良い姿を継承していきます。

自ら考え、計画を立て、友達と共に実践していくことで学びを進め、深めていく。
それができる学校を児童自身が創っていく。

学びの場

校内だけでなく、地域や外部機関、校外の人材とも連携を図り、学びのフィールドを広げ、多くの方と関わり合いながら学びます。

学び合い

共に学び・伸ばし会うために、様々な考えの交流の場や形で対話的な学びの機会が用意され、多様な考えに触れながら学びを深めます。

RECOMMEND

自律的な学びのための
特色ある学校づくり＆教育活動

本校では、自律的な子どもの育成のために様々な取り組みを行っています。子どもたちが自主的に、また創造的に活動を進めていくための環境を用意すると共に、子どもたちがつながりの中で自己決定し成長し続ける姿を求めていくための教育活動を進めています。子どもたちの可能性を広げていくため、子どもを中心とし、教員、家庭、地域がともに学校づくりを進めていきいます。

01 ボランティア活動

児童が自発的にボランティア活動を行う事のできる仕組みを用意することで多くの児童が自発的に活動を進めています。自分の思いを形にしたり、友達のつながりを作ったりする場としても機能しています。

活動例
雨の日プロジェクト　あいさつ運動　グランド清掃
勉強応援活動　廊下歩行の呼びかけ　落とし物管理
ぶどう復活プロジェクト　安全なくらし伝え隊　など

02 自己選択学習 AIドリルの活用

AIドリルを導入し、個別最適な学びを進めています。昨年度よりタブレットドリルの使用率を向上させ、本年度はAIドリルを活用し、それぞれの児童が学習の定着度から学習内容を自分自身で決めて行います。

AIドリルは、各自の解答状況や誤答の内容により、必要な学習内容を適切に選択し、児童に提供します。その結果、児童自身の力で必要な学習を進めることができます。

03 教え考えさせる授業

これまで、子どもたち同士の対話を大切に学習を進めてきました。全国学力・学習状況調査や滋賀県の学力調査の結果を受けて、知識や考え方を正しく身につけ、対話をさらに促し、深い学びへとつなげるために、「教え考えさせる授業」を取り入れます。先生が必要な知識をわかりやすく児童に与え、どの児童も考えるために必要な材料をもって楽しく考えることができます。

04 地域との連携活動

学校と地域が連携し、ウェルビーイングの実現を目指しています。昨年度より、子どもたちと地域の方が共に意見を交換し合う「地域・学校を元気にする会議」をスタートさせました。地域に支えられる学校から、地域と共に協力し合える学校へと変わっています。ボランティア活動や学校行事で地域の方と子どもたちの交流が増え、児童の活躍のフィールドが広がっています。

05 児童会活動の充実

上学年への「あこがれ」と下学年に対する「思いやる気持ち」を醸成することにより、学年を超えたより良いつながりと学校文化づくりを進めています。縦割り掃除や秦西祭りなど多くの場で児童会活動の充実に取り組んでいます。

授業の充実やより良い子どもたちの活動を支えるために、教員の自主的な研修会を年間を通して行っています。また、このような研修の時間を生み出すために業務の見直し等の工夫も行っています。

06 地域ボランティア室の設置

地域の方と児童の交流の場、また協働の場としてボランティアルーム「ひだまり」を開設しました。学校・地域との協働の拠点としてはもちろん、様々な課題を抱える児童の居場所としても機能しています。

最新の情報や、これまでの取り組みはこちらをご覧ください。

秦荘西小学校HP
https://www.town.aisho.shiga.jp/school/04_hatanisisyou/index.html

R6 OUR ATTEMPTS and ACTIONS

愛荘町立秦荘西小学校

ESTD 1955 HATASHO NISHI EDUCATION

〒529-1223 滋賀県愛知郡愛荘町島川1162番地
電話番号：0749-42-2244
ファックス：0749-42-2344